

今後の観光施策の展開方向について～国内外から『何度も訪れたくなる いわて』

(資料 No. 4 - 7)
平成 28 年 1 月 15 日
商工労働観光部観光課

本県をとりまく状況

施策展開の方向等

新たな世界遺産登録や国体の開催などのチャンスを生かし、「国内外から何度も訪れたくなる いわて」を確立するため『5つのUP（アップ）！』を目指す。

① 世界が認めた「遺産」で UP！

- 「世界遺産」が2つあるという優位性を生かし、岩手への誘客拡大を目指す。
- 世界遺産登録を目指している「御所野遺跡」のほか、数多くの郷土芸能や賢治、啄木など優れた資産を生かして岩手ならではの旅行の提供を目指す。

【取組方向】

- 2つの世界遺産を核として、地域と連携した**魅力のブラッシュアップ**の促進
 - ・「食」や「物産」など「世界遺産+α」の地域資源の開発促進
- **北海道・東北広域観光周遊ルート**の確立（北海道新幹線開業を生かす！）
- 『**岩手まるごと売り込み**』の展開
 - ・南部鉄器や漆器などの「岩手の特産品」を組み込んだ「まるごと売り込み」PRの展開

② 国体・スポーツで UP！

- **国体**等で本県を訪れる方に岩手の魅力を伝え、**+1（プラスワン）滞在とリピーターの拡大**を目指す。
- ラグビーワールドカップ、オリンピック開催も見据え、外国人個人旅行者を中心とした誘客の拡大を目指す。

【取組方向】

- 国体等来県者への本県の**魅力のPRと県内周遊の誘引**（バスツアーの運行支援等）
- **スポーツツーリズムでの誘客の拡大**（サイクルツーリズム誘致など）
 - ・スポーツ合宿や競技イベントを誘致する市町村等と連携したPRの展開

③ 三陸で UP！

- 震災学習に加え、世界遺産に登録となった「橋野鉄鉱山」や「あまちゃん」、三陸ジオパークなどのコンテンツにより**教育旅行のほか、企業旅行の誘致**を目指す。
- 「あまちゃんレガシー」をはじめ、三鉄やジオパーク、潮風トレイルなどの多様な資源を生かし、地域周遊、体験ができる**沿岸滞在型観光**の確立による誘客の拡大を目指す。

【取組方向】

- 震災学習に加え、「世界遺産」、ジオパークなどを加味した**教育旅行や企業旅行の誘致**
 - ・北海道（新幹線開業を生かす！）、関西等をターゲットとした官民一体となったプロモーションの展開
 - ・教育旅行を契機としたリピーター（修学旅行の地へもう一度）確保など、「何度も訪れる三陸」の構築支援
- 多様な資源を生かした**地域周遊や各種体験ができる滞在型観光の確立**
 - ・内陸から沿岸への流動を促進する MICE 開催に伴う沿岸エクスカージョンへの支援など
- クルーズ船による国内外からの誘客促進
 - ・宮古～室蘭のフェリー就航を活用した県内周遊ルートの構築

④ 「IWATE JAPAN」で UP！

- 国際定期便化を目指している**台湾をはじめ、海外からの誘客拡大**を図る。
- **ラグビーワールドカップ**、東京オリンピックの開催や ILC 推進などにより、今後増加すると見込まれる**個人旅行者もターゲット**として市場ごとのニーズを捉え、それに対応したプロモーション、受入態勢整備を展開する。

【取組方向】

- **台湾国際定期便化**を目指しての**フルシーズンでの誘客の拡大**
 - ・「夏＝農山漁村体験」「冬＝雪国体験」などの夏冬シーズンの海外向けコンテンツのブラッシュアップと情報発信の強化
- 東北観光推進機構などと連携した**台湾以外の有力市場へのてこ入れ（市場特性を踏まえたプロモーション）**
 - ・ゴルフ、スキーなど特定目的ツアー客の誘致（韓国、中国、オーストラリア）
 - ・個人旅行者をターゲットとした情報発信の強化（香港、欧米）
 - ・現地旅行会社等への本県向け商品造成のプロモーション強化（タイ、マレーシア等）
 - ・ミラノ万博で培ったネットワークなどを活用したプロモーション活動の推進（イタリアをはじめとした欧州）
- 増加する**外国人個人旅行者をターゲット**とした**受入態勢の充実や情報発信**の強化
 - ・Wi-Fi 環境整備、多言語表示、通訳サービス等の支援
- 東北観光推進機構を中心とした、**広域観光周遊ルート**の構築（平成 27 年 6 月 12 日付 国土交通大臣認定）

- ・橋野鉄鉱山の世界遺産登録（H27）（構成資産は、8 エリア（県）23 資産）
- ・平泉の世界遺産登録から 5 周年（H28）
- ・御所野遺跡に係る世界遺産登録への取組（構成資産は、4 道県 18 資産）
- ・北海道新幹線の開業（H28. 3）（北陸は、H27. 3 月開業）

- ・希望郷いわて国体、いわて大会開催（H28）
- ・国際的スポーツイベントの開催
 - H31: ラグビーワールドカップ釜石市での開催（開催地 12 都市：釜石市、札幌市、埼玉県熊谷市、東京都（国立競技場）、横浜市、静岡県袋井市、愛知県豊田市、東大阪市、神戸市、福岡市、大分市、熊本市）
 - H32: 東京オリンピック、パラリンピックの開催

- ・「あまちゃん」三陸鉄道、ジオパークなど三陸観光資源の注目度上昇
- ・震災学習を核とした教育旅行、企業研修が定着

- ・H26 の国内全体の訪日外国人旅行者は、過去最高の水準（ただし、東北では震災前の水準に回復せず。）
- ・国による訪日客への規制緩和と、地方への誘導等の展開（免税制度の拡大、査証登録要件緩和、広域観光周遊ルート形成促進事業）
- ・台湾の国際定期便の就航（H29 年度目標）
- ・ILC 建設実現への取組



⑤ 「岩手に来て良かった」でさらに UP！

- 来県者の満足度を向上させ、**リピーターを拡大**するため、サービスやおもてなしの向上などの受入態勢の充実を目指す。

【取組方向】

- **旅行者が満足する体験型、滞在型観光の振興**
 - ・マーケットのニーズを的確に捉え、これに対応したプロモーションや受入態勢整備の展開の中心となる「岩手版 DMO」の構築に向けた、関係機関との調整
 - ・コーディネーターによる地域資源の発掘、磨き上げの支援
- 観光を支える**人材の育成支援**
 - ・地域からの企画提案力を備えた観光人材の育成支援
 - ・『いつでも、どこでも、だれにでも』を目指した観光ガイドの育成支援
- **県内移動の快適さの確保**
 - ・バスを中心とした二次交通の充実
 - ・モバイルなどを活用した周遊ガイド機能の充実
- 訪日外国人観光客をはじめ国内外からの観光客が快適に過ごしリピーターとなるような**ユニバーサルデザイン**の推進
- 「オール岩手」による**おもてなし向上**の一層の推進
 - ・宿泊、買い物、飲食、交通などの情報の「わかりやすさ」と「気軽に利用しやすさ」を備えた「ウェルカム態勢」の整備支援。
 - ・「いわて観光プロモーション隊」によるPR
 - ・国体等と連動した「あなわん運動」の展開



